

# チューターとわたし 困ったときのヒント

# 目次

- 事例と解決策
  - 予定が合わない
  - 話題が見つからない
  - 何をしたらいいのかわからない
  - 学習面の話を出しにくい
  - 日本語の直し方がわからない
- 過去のチューター活動例

# 予定が合わない

## ○チューターが忙しい

放課後や休日に会う

お昼休みに一緒にご飯を食べる

## ○留学生が忙しい

留学生の時間割を把握して空きコマに会う

# 話題が見つからない

- 他のチューターや留学生など3人以上で話す
- 映画を見たりご飯を食べたりしながら話す

# 何をしたらいいのかわからない

- 普段友達とすることをする
- 大学内や友人のコミュニティを活かして日本でしかできない経験を一緒にする

# 学習面の話題を出しにくい

- 日本語の授業でどのようなことを勉強しているのか内容を尋ねてみる
- 日常生活で頻繁に使う日本語（「いいね」「面白い」など）を教える

# 日本語の直し方がわからない

- 会話の中での少しの言い間違いであれば、自分が話すときに正しい言い方をする
- 会話を楽しみたいのかきちんとした日本語を身に付けたいのか留学生の要望に合わせる

# 過去のチューター活動例①

- 活動時期：1年秋～2年夏（10月～8月）
- 留学生出身国：ドイツ
- 具体的な活動：週一で会う、基本的に日本語のサポート(すごいできる子だったので向上心がすごい!) 週末はごはんに行ったり温泉に行ったりも! チューティーから誘ってくれることも多かった。
- 工夫したこと・気をつけたこと：上下関係を作らない。英語の課題で助けてほしいときは助けてもらうし、海外のことで知りたいこともいっぱい聞く。だからこそ、チューティーもためらいなく頼ってくれたのかなと思う。



# 過去のチューター活動例②

- 活動時期：1年後期（10月～2月）
- 留学生出身国：オランダ
- 具体的な活動：週に1回会う。IPLANETのイベントに参加する。初めの頃は会うときに日本語の勉強をしていたが、学期が進むにつれて毎日勉強で大変そうだったので必要なとき以外は勉強ではなく息抜きで買い物をしたりご飯を食べに行ったりすることが多かった。
- 工夫したこと・気をつけたこと：公的な手続きはチューター同士で情報を共有して楽に進められるようにした。他の留学生はチューターと会って勉強をしていることが多かったのに対して息抜きが多く不安だったが、それぞれのやり方でいいと割り切るようにした。

# 過去のチューター活動例③

- 活動時期：2年秋～3年春(10月～8月)
- 留学生出身国：アメリカ
- 具体的な活動：週に一回日本語の練習を一緒にした。アイプラのイベントに定期的に参加したり、寮のパーティーに招待したりした。後半は自宅に招待したり旅行に出かけたりもした。
- 工夫したこと・気をつけたこと：お互いに忙しくても週に一回は会うように気をつけた。浅い話ばかりしないように、恋愛や過去、将来の話など、聞いてみて、聞いた後は自分の話をする。気になることは勇気を出して聞いてみる。教えてあげる立場ではなく、友達として接する。相性はあるので、無理せず、違うと思ったら変わってもらうことも視野に入れていいと思う。